

「福島第一原子力発電所事故から考える原子力安全規制について」

長岐 裕介

要旨

平成23（2011）年3月11日、東北地方太平洋沖地震による地震動と津波の影響により福島第一原子力発電所事故は発生した。このような事故はなぜ発生してしまったのか。それは、地震や津波だけではなく、地震・津波による被災の可能性、自然現象を起因とするシビアアクシデント（過酷事故）への対策、大量の放射能の放出が考えられる場合の住民の安全保護など、事業者である東京電力や規制当局である内閣府原子力安全委員会が適切な対応を行っていなかったからだ。

そこで、本論文では、原子力安全に関する行政や企業の責務、事故前の原子力安全規制の問題点、事故後原子力安全規制がどのように改善されたのか、また、米国の原子力安全規制と比較をして、日本の原子力安全規制について考えてみた